

この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱い説明書をお読み頂き、正しくお使いください。

製品を末永くご愛用頂き、また事故防止などの安全のために「安全上のご注意」と「取扱い上のご注意」、別添の「使用上のご注意」を必ずお守りください。

取扱い説明書は必ずご使用時にいつでも読むことができるように大切に保管してください。

laup_up

家庭用品品質表示法に基づく表示

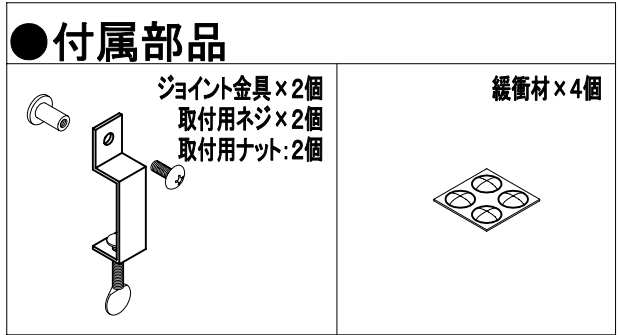
外形寸法 幅 540mm x 奥行 230mm x 高さ 340mm
デスク上設置時高さ:1,060mm

表面材 天然木集成材(ラバーウッド)

表面加工 ウレタン樹脂塗装

取扱い上の注意 イ. 直射日光または熱を避けてください。
ロ. 加熱したなべ、湯沸し等を直接置かないで下さい。
ハ. 著しい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用して下さい。

製造元 小島工芸 株式会社
03-3674-2251



安全上のご注意 (必ずお守りください。)

表示内容を無視して誤った使い方をすると、人が重傷を負ったり死亡の可能性が想定されるケガや物的損害の発生が想定され大変危険です。以下のことを必ずお守りください。

デスク天板への設置は**必ず大人の方が慎重**に行ってください。転倒したり落下するとケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

上棚は付属のジョイント金具で必ず固定してご使用下さい。転倒したり落下するとケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

デスク天板から上棚を移動する際には、収納されている本や物を一度片付けていただき、**必ず大人の方が持ち上げて**移動してください。収納物が落下してケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

デスク天板に上棚をのせたままデスクを移動したり、ベッド下へ収納しないでください。上棚が落下してケガをしたり、床や壁、製品を傷付けたり破損したりする恐れがあります。(上棚をデスクの上ののせた状態での収納はハイベッドのみ可能です。)

ジョイント金具のネジやボルトはしっかり締めつけて固定してください。日頃時々点検をして、ネジやボルトがゆるみはじめたらしっかりと締め直してください。転倒したり落下するとケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

取扱い上のご注意 (必ずお守りください。)

警告 火災などによる人身事故にご注意ください。

暖房器具の前など高温な場所で使わないでください。

お客様自身で修理・改造はしないでください。

注意 安全と製品保護のため正しくお取扱いください。

使用中にボルトにゆるみが生じた場合、ドライバー等でしっかりと締め直してください。

(転倒・落下の原因)

デスク天板上への設置及び移動をする際は、天板の上を引きずらないで必ず大人方が持ち上げて行ってください。

(デスク天板を傷つける原因)

お願い 製品を末永くご使用いただくために、以下のことについてお守りください。

天板の上に熱いものをのせないでください。(コゲつき・変色の原因)

直射日光のあたるところ、湿度の高いところ、湿気の多いところでは使用しないでください。(反り・割れ・変色・カビの原因)

製品にシールやセロハンテープ等を貼り付けしないでください。(表面材がはがれる原因)

シンナー・ベンジン等を吹き付けしないでください。

お手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を薄めた液が石けん水に布を浸しよく絞ってから拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。

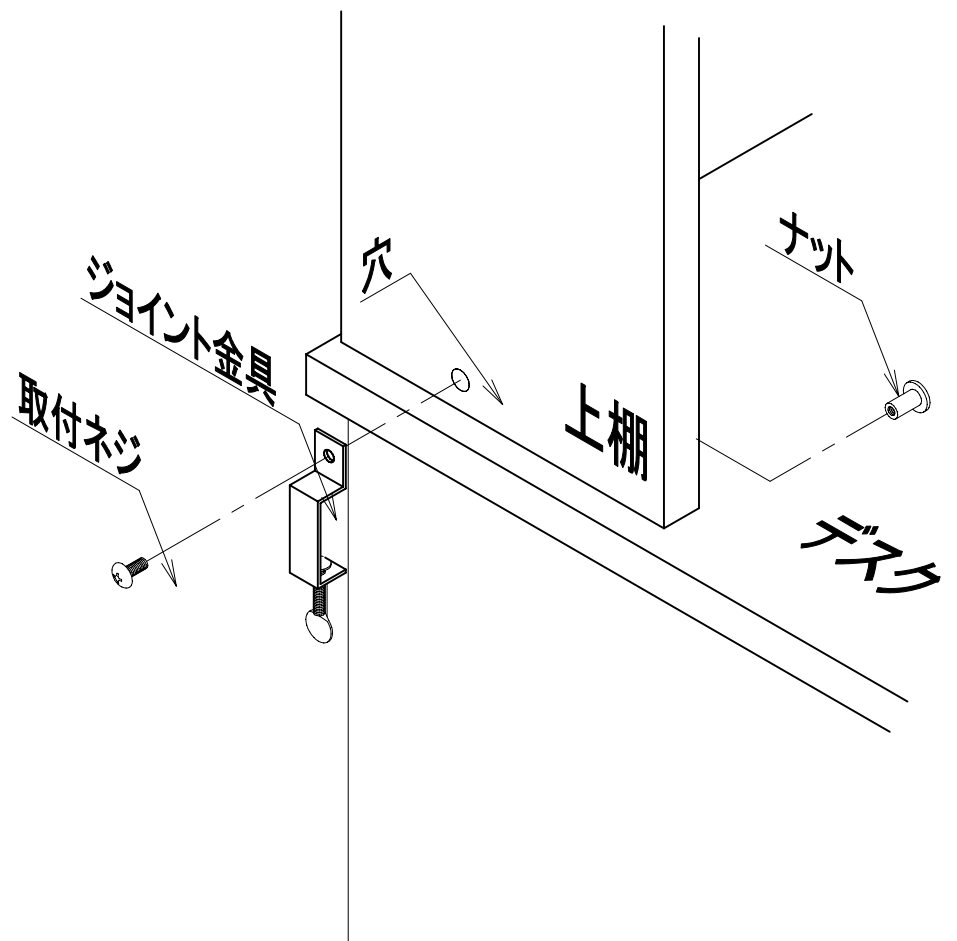
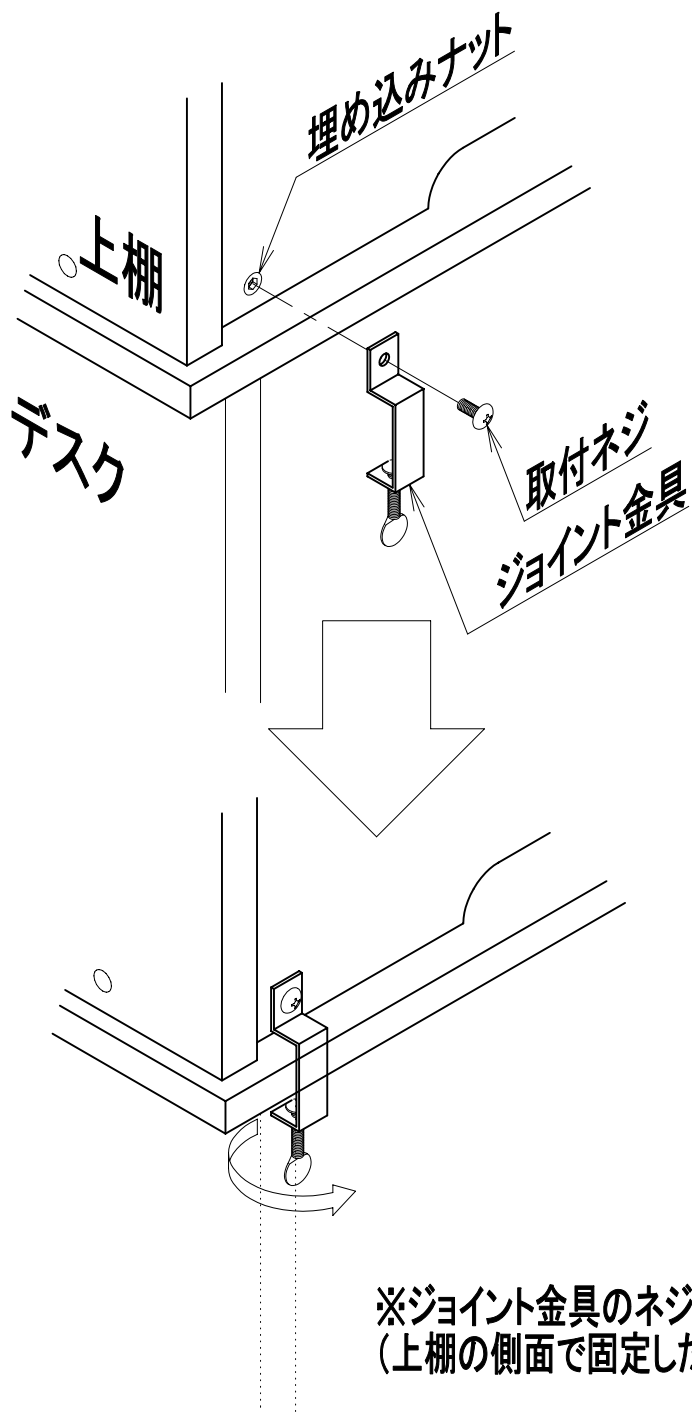
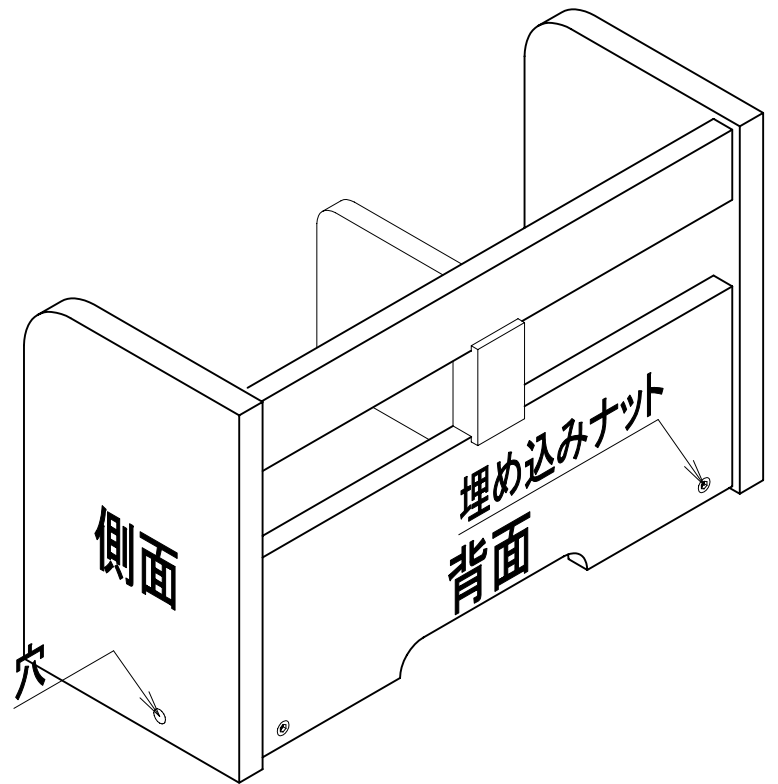
取扱説明書

上棚の取り付け方法

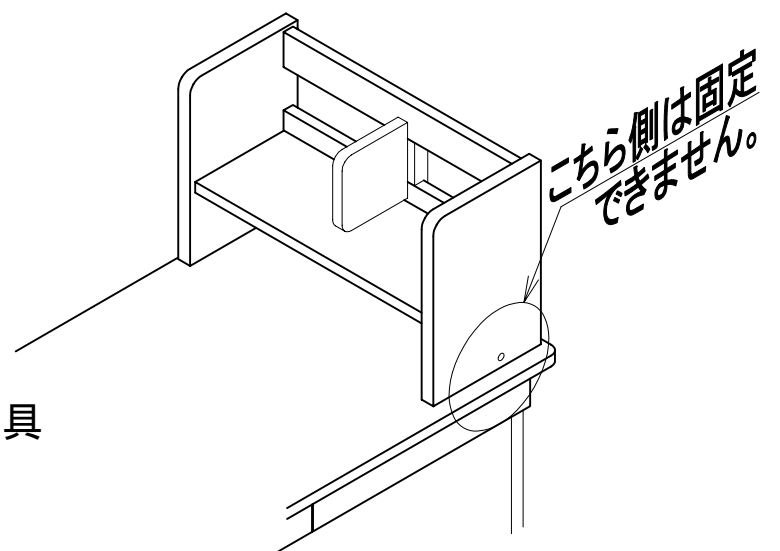
上棚を設置する際は、必ず大人の方が慎重に行ってください。

デスク天板に上棚をのせ、上棚の背面にある埋め込みナット・もしくは側面にある穴に付属のナットを通して、付属のボルトでジョイント金具を固定します。

ジョイント金具に付いているネジを締め付ければ完了です。



※ジョイント金具のネジを締めます。
(上棚の側面で固定した場合も同じです。)



上棚をデスクに対し横に設置を行った場合、ジョイント金具での固定は奥側と背板側の2ヶ所で固定してください。
図の様に手前側については、固定できません。

上棚滑り止め取り付けの方法

付属の緩衝材を取り付けることによって、上棚の滑り止めとすることができます。

上棚側板のデスク天板やラック天板と設置する面には、保護フェルトが貼られています。そのフェルト以外の部分に緩衝材を貼る事で、上棚が不用意に動きにくくすることができます。(右図参照)

緩衝材は上棚の転倒・落下を防ぐものではありません。

上棚の設置時には必ずジョイント金具にて固定の上、使用してください。

